

—夢・大地 みんなが愛する水の里—



# とめ市議会だより

2010  
第22号  
11月10日

「よーい ドン!!」  
西郷幼稚園



### 目次

一般会計・病院事業会計決算を不認定	2
ここが聞きたい(一般質問)【24人登壇】	11
委員会レポート先進地視察	24

とめ市議会だより 第22号

平成22年11月10日発行

発行／宮城県登米市議会 〒987-0695 登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
編集／登米市議会報編集特別委員会 ☎0220-22-1913 FAX0220-22-9225



## 恒久平和の実現へ 非核・平和の都市を宣言

9月定例会において、議員発議による「非核・平和都市宣言に関する決議」が提出され、全会一致で可決しました。

### 宣言文

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核・軍備の拡張は依然として続けられており、世界の平和・人類の生存に大きな脅威をもたらしている。

私たちは、世界で唯一の核被爆国として、この地球上に再び広島・長崎の悲劇を二度と繰り返さないため、全世界の人々に核兵器の廃絶と軍縮を強く訴え続けていかなければならない。

登米市は、日本国憲法に掲げる恒久平和の理念に基づき、平和で豊かな暮らしを次の世代に引き継ぐことを誓い、ここに「非核・平和都市」を宣言する。

## 長沼工業団地を調査

議会全員協議会が10月20日に開かれ、立地企業が決定し、造成工事が進む長沼工業団地の整備状況を現地調査しました。



## 議会からのお知らせ

### 市議会12月定例会

12月2日(木) 開会予定

議会は市政を知るよい機会です。  
お気軽に傍聴してください。

### 議会のホームページを開設しています。

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。また、今年度から本会議の会議録(21年度以降分)もご覧いただけるようになりましたので、ご利用ください。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

### あとがき

異常気象ともいえる厳しい暑さの夏も過ぎ、皆様にはこの議会だよりが届く頃には、晩秋を迎える頃になると思います。

9町が合併して以来6年目に至り、今年はトヨタ自動車関連の企業誘致が実現するなど、登米市にとって飛躍を期待する年となりました。

いま議会は市民と身近な議会を目指し、議会改革を進めております。また、本市にふさわしい医

療環境の向上にむけ、委員会審議を重ねているところでもあります。市民の皆様、どうぞ御自愛のほどを。  
(田口 久義)

### 議会報編集特別委員会

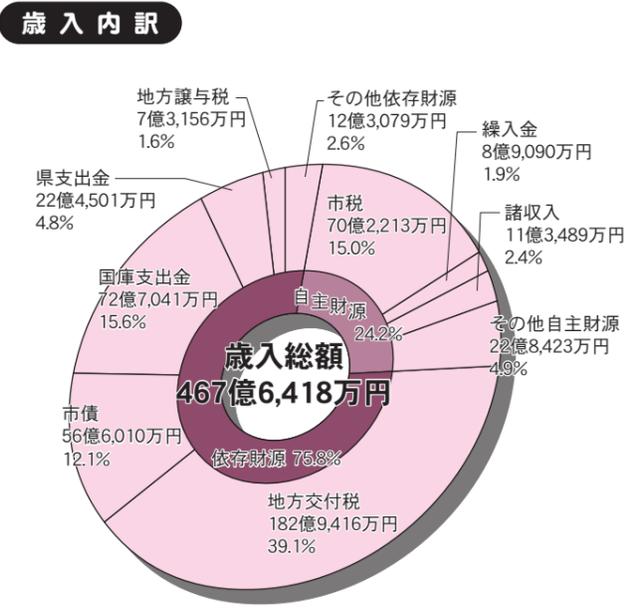
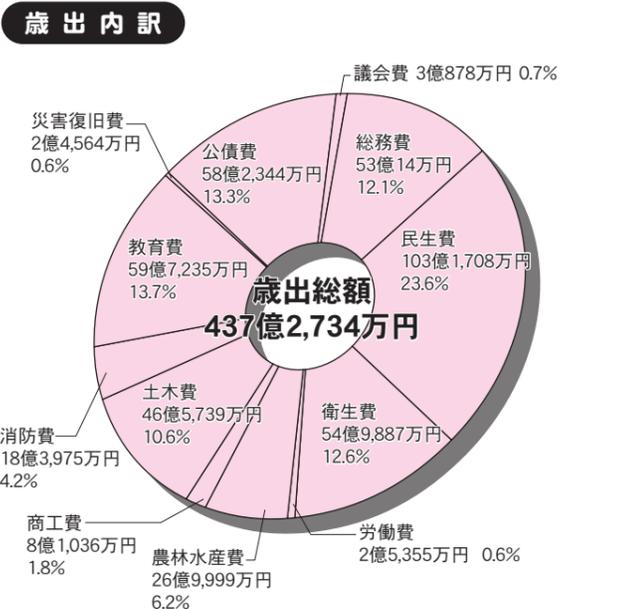
議長	田口 政信
副委員長	岩淵 正宏
委員	工藤 淳子
伊藤 吉浩	
関 孝	
田口 久義	
佐藤 尚哉	
中澤 宏	

# 21年度 一般会計 病院事業会計 決算を 不認定



9月定例会

## 一般会計



歳出総額は前年度と比べ、18億9,366万円の増加となりました。市民一人当たりになると、50万6,755円になります。(平成22年3月末現在の住民基本台帳人口86,289人を基準に算出)

歳入総額は前年度と比べ、32億1,930万円の増加となりました。国庫支出金は31億2,739万円の増加、市税は4億3,772万円、市債は8億5,110万円の減少となっています。

## 決算概要

平成21年度の決算審査は、議長を除く議員29人で構成する決算審査特別委員会で審査しました。

一般会計では、歳入が467億6418万円、歳出が437億2734万円で、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越される財源17億4029万円を差し引くと、12億9655万円の黒字となりました。

また、基金の状況は一般会計と特別会計を合わせた21年度末基金現在高は、前年度末より4347万円少ない97億

4870万円となりました。病院事業会計では、収益的収支が3億344万円の純損失で、年度末の未処理欠損金は、103億1008万円となりました。

一般会計決算は、市が2分の1以上を出資している第三セクターが21年度決算を不適正に報告した問題などで審議が紛糾し、3人の議員から反対討論が行われました。

また、病院事業会計決算も、活発な質疑のあと、市立病院の経営改善の努力が感じられないなど、反対討論が行われ、いずれも「不認定とす

第3回定例会は、9月9日から9月30日までの22日間の会期で開かれました。本定例会では、21年度各種会計決算認定や条例改正など61議案を審議しました。また、24人の議員が一般質問を行いました。決算の認定は、決算審査特別委員会を設置し、審査を付託しました。

審査の結果、一般会計決算及び病院事業会計決算の2件については、不認定と決定しました。ほかの21年度国保特別会計決算など9件については認定しました。

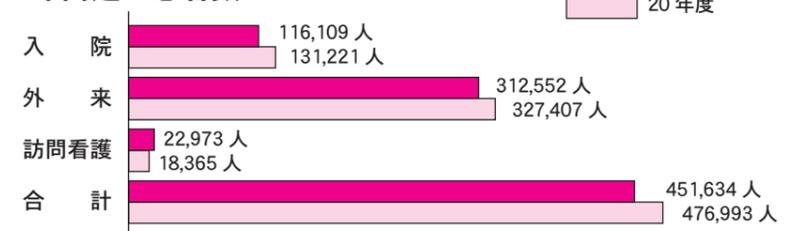
このほか、本年度一般会計補正予算や議員発議の「非核・平和都市宣言」の決議など議案50件は原案のとおり可決しました。

また、長沼工業団地の字名を変更する議案は、市長が撤回しました。

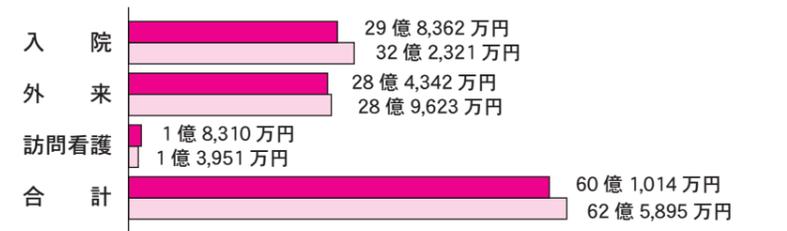
## 病院事業

### 〈患者数と料金収入〉

#### ■年間延べ患者数



#### ■料金収入



### ■財政分析指標

(単位：財政力指数を除き%)

区分	20年度	21年度
財政力指数	0.38	0.37
経常収支比率	92.2	91.1
義務的経費比率	47.2	45.0
公債費比率	12.3	11.1

**■財政力指数**  
この数値が大きいほど財政力が強いといえる(1に近いほどよい)

**■経常収支比率**  
市にあっては80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといえる。

**■義務的経費比率**  
この比率が高いほど財政構造の弾力性が低いといえる。

**■公債費比率**  
この比率が高いほど、公債費の増加が将来の住民負担を強いることとなる。

### ■平成21年度 各種会計の決算状況

(金額は1万円未満を四捨五入)

会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		467億6,418万円	437億2,734万円
特別会計	国民健康保険	102億3,428万円	99億876万円
	老人保健	7,098万円	6,672万円
	後期高齢者医療	6億9,755万円	6億8,644万円
	介護保険	66億4,200万円	64億7,467万円
	土地取得	4,777万円	4,775万円
	下水道事業	52億4,377万円	51億4,053万円
	宅地造成事業	4億8,552万円	4億8,425万円
	合計	701億8,605万円	665億3,646万円
会計名		収入額	支出額
企業会計	水道事業	収益的収支 23億4,102万円 資本的収支 16億9,540万円	19億8,554万円 25億3,450万円
	病院事業	収益的収支 76億9,307万円 資本的収支 7億951万円	79億7,740万円 9億3,384万円
	老人保健施設事業	収益的収支 3億5,837万円 資本的収支 -	3億4,860万円 3,322万円

べきもの」となりました。本会議の最終日に、決算審査特別委員会から審査結果の報告が行われ、本会議において、2会計が不認定と決定しました。

# 決算審査特別委員会 審査状況

## 一般会計 第三セクター

## 不透明決算 病院事業会計

## 改革プランの成果見えず



決算審査を進める小野寺委員長

決算審査特別委員会の審査内容を要約してお知らせします。

### 総括質疑

#### 今後の財政運営は

田口久義 議員

地方交付税の今後の運用を含めた財政運営をどう考えるか。

普通交付税を旧9町単位に算定する特例期間が27年度までで、その後5年間の段階的な減額期間を経て、33年度からは一本算定となるため、相当の減額が見込まれる。その時点で、過大に見込むことのないよう、取り組む必要がある。また、財政規模の縮小が必須であり、一般行政経費や定員適正化計画に基づいた人件費の削減、事務事業全体の見直しなどを行い、行財政運営の効率化を進め、誤りのない財政運営に努めていく。

#### 行財政改革の21年度到達状況は

佐藤恵喜 議員

行財政改革の21年度到達状況の中で、民間委託の推進、指定管理者制度の導入、非常勤職員の採用を、どのように総括をしているのか。

### 一般会計

#### 歳入

財政は厳しい状況と聞くと、予算は毎年増えている。21年度決算は460億円と前年度より30億円上回っているが、

要因は国からの経済対策であり、20年度から23年度までの計画では95億円ほど増える。財源の手当ては、国県の支出金が大部分を占めている。宮城県地方税滞納整理機構へ83件の移管を行っているが、どういった場合なのか。

滞納繰越分で累積増の事業や広域的な財政調査が必要な事業、管外移住の事業など市町村では困難と判断される事業。

個人住民税の滞納があり、市税の滞納が多額な事業。滞納事業が時効完成、滞納処分が執行停止中、徴収猶予または換価の猶予中、分割納付履行中、納付納入受諾中ではない場合を移管の選定基準としている。

#### 総務

市内には302行政区が

中期的には市全体の定員管理の中で、後年度の人件費の削減が確実に見込まれることから、今後も推進すべきものと考えている。

幼稚園使用料、し尿収集運搬処分手数料、保育料、検診料、放課後児童利用者負担金はどのようになったのか。

「使用料検討委員会」で検討した結果、幼稚園使用料と保育料は増額改定の方向が示されたが、現在の経済状況や子育て支援の観点から、更に検討を要するものとなった。し尿収集運搬処分手数料は現状維持、検診料は有料化の方向が示されたが、実施については未定。放課後児童利用者負担金は現在無料だが、放課後子ども教室推進事業との関係もあり、具体的な料金水準の検討は行っていない。

#### 経済対策臨時交付金の成果は

菅原幸夫 議員

地域活性化・経済危機対策臨時交付金が予算化されたが、その成果は。

各種公共施設の整備・改修などの事業実績で、安全性や市民福祉の向上、雇用の確

保に寄与している。経済対策面では、工事請負費及び設計等委託料の約90%が市内及び準市内の事業者が受注していることから、市内事業者の受注確保にもつながっており、地域経済への貢献など、効果があったと認識している。

#### 一般行政経費削減の成果は

佐藤 勝 議員

一般行政経費削減の成果は。22年度末の職員退職者はどれくらい見込まれるか。

21年度一般会計の歳出決算から、不用額は1億9358万円、このうち物件費は5億2712万円になる。人件費は定員適正化計画に基づき、5年間で240人、10年間で450人の削減目標を掲げている。退職者は22年度が54人、23年度は60人程度と予測している。

#### 社協、シルバー人材センターへの補助のあり方は

中澤 宏 議員

社会福祉協議会、シルバー人材センターへの人件費補助のあり方は。

基本的に国と自治体の補

できるだけ就労の機会をつくるよう努めている。

自殺予防対策「いのちホッとテレホン」事業について相談電話がなかなかつながらない。対策が必要だ。

「仙台いのちの電話」に委託しており、3台の受付電話で対応している。平均40分、50分の相談のため台数の増設を要望するとともに、福祉事務所内にも、専用の相談電話を設置し、案内している。

じん芥処理について、最終処分場の残容量と今後の計画は。

21年度末の埋め立て率は72.5%で、30年まで可能。来年度、基本計画策定に向け、現在、候補地等の選定作業を進めている。

#### 農林・商工

環境保全米作付面積は79.9%に達しているが、21年産米が大量に売れ残っている要因は何か。

環境保全米という安全安心に対する消費者の見方が、景気の低迷等により、安い米にシフトしたことが要因と聞いている。



チャチャワールドいしこし



シルバー人材センターの作業風景

#### 人件費の削減効果は

沼倉利光 議員

18年度以降の指定管理者制度、委託を含めた人件費の削減効果は。管理職手当の基本的な考え方は。

指定管理で1億1520万円、委託で2億8016万円の削減効果となる。管理職手当はこれまで4年間削減に取り組んできた。今後、総合的に判断し、方向づけを行うべきと考えている。

石越高森公園の指定管理者である株式会社いしこの決算書の預金残高と利息の疑義について、調査内容を伺う。

貸借対照表並びに財産目録について、6つの預金口座の1つが984万4819円の残高となっているが実際は19万4012円であり、その差965万807円は貸借対照表上、現金となり、現金の部分が10万1710円から975万2517円になる。現金が大量に存在する状況になった流れについて調査を行い、10月の早い時期に報告書をまとめ、監査委員に対し、監査の依頼を行いたい。

90力所の橋梁の耐震診断を行った結果は。

損傷度50点以下の橋梁が61橋あり、総合評価で悪いものが9橋ある。

ほ場整備等で市道認定をしていない道路があるが、調査の状況は、いつまで調査を終了できるのか。

認定要綱を踏まえて変更や再認定をしているが、約3年で認定、変更を終了する。

道路台帳管理、閲覧システム構築に、2年間で5000万円の事業費を要しているが、市民との関わりは。

市道は4916路線、延長で2677kmあり、合併前の未整備分や改良・更新を繰り返して台帳の整理を行っている。市民には、路線図と1000分の1の縮尺図面で見られるよう取り組む。

定住促進住宅の40%が空き家になっているが、老朽化した住宅から移動はできないのか。

4月からの運営なので今後の状況を確認し運用していく。

登米市こじか園条例の制定

提案理由 児童デイサービス等を行う障害者支援施設に変更すること、及び指定管理者にその管理を行わせるため、新たに条例を制定するもの。

指定管理となった場合の利用料金はどうか。また、減免部分の補てんはどうなるのか。マンツーマン指導が指定管理により手薄にならないか。また職員数の変化は。個人負担の上限が統一さ



指定管理が予定されるこじか園



消防防災センターでの見学

消防

デッキバン積載車や制服等の製作をものづくりの地産地消という考えから、事前に提案したが、21年の取り組みは。

具体的な取り組みはしていないし、アクションも起こしていない。

自主防災組織を100%達成したようであるが、消防防災センターの利用状況は。

157団体、4125人が利用した。そのうち学校が34校で1467人、自主防災組織が32団体、862人である。消防後援会の支援のあり

議案審議

9月定例会で審議された内容のいくつかを要約してお知らせします。

教育

登米、東和、津山で組織され、39万円程の補助金を交付している。今後は、各支団と協議し、検討委員会で決定していく。

奨学金の貸付件数が少ないが、条件が厳し過ぎるところはないか。

21年度に貸付要件の所得部分を緩和している。緊急の応募にも対応していく。

図書館の利用者が増加しているが、合併時の生涯学習センター計画はどうなっているのか。

構想について具体化していない。子ども読書推進計画やシステムの改善を図り、読書活動を推進していく。

一般会計反対討論

給食センターの民営化は、人件費の増大や税金の地域内経済循環を考え、反対である。食と農と教育を一体化すべきである。保育士をはじめ、非常勤職員の対応が問題である。株式会社いしこの不適正な決算

処理の問題があり、反対する。佐藤恵喜議員

指定管理料を支出している株式会社いしこの決算報告に、架空の貯金残高計上の事実が明確であり、監査体制にも問題があり、反対する。岩淵正宏議員

公が守るべきものは社会正義と透明性、公平性の原則の事業推進でなければならぬ。株式会社いしこの件は、不適正を超えて異議を感じるものであり、反対する。浅野 敬議員

(起立少数で原案不認定)

企業会計

病院事業

経営形態のあり方懇話会の方向は独立行政法人であるが、今後の決意は。

経営形態のあり方だけでなく、公営企業の全部適用の活用も視野に入れ、体制づくりをしていく。浅野 敬議員

医療収益の改善には医師

の確保が一番であるが、医師招聘の具体策は。

大学や県、自治医科大、ドクターバンクの活用など、人的ネットワークを活用して招聘活動をしている。

佐沼病院は昨年と比べて入院で12・7%、外来で5・7%下回っている。その分、米谷、豊里が補完をしている。救急搬送も50%以上が市外である。2次医療、急性期病院の役割を果たしているのか。

米谷、豊里も救急医療の指定をしており、地域医療として1・5次、できれば2次医療までの体制をどう整えるかが課題である。集約だけでなく、役割分担を含めた配置が必要と認識している。

病院事業会計反対討論

当局者の責任感が希薄であり、不毛の時間だけが過ぎていく。収入増、費用減の方策についても取り組みがされていない。このまま経営手法を是認するわけにはいかない。浅野 敬議員

(起立少数で原案不認定)

登米市基金条例の一部を改正する条例

提案理由 基金の積み立て及び処分ができるように改正するもの。

畜産の貸付基金は振興策として活用を。

今後の農業の柱として、取り組む検討を進めている。

登米市都市公園条例の一部を改正する条例

提案理由 迫中江公園内に野外ステージを整備し、使用料を設定するもの。

市民が使う分は無料で開放しては。他の類似施設と整合性をとった。

反対討論

公園は市民に親しまれ、有効活用できるように無料開放するのが、市民に対するサービスではないか。

(起立多数で原案可決)



ジュニアリーダー活動で野外炊飯に挑戦

こじか園の管理を指定管理者に行わせることは適切でなく、直営よりも指定管理者がふさわしいという理由づけに乏しく、直営でこそ大事な障害児施策を考へるべき。佐藤恵喜議員

(起立多数で原案可決)

登米市青少年センター条例の一部を改正する条例

提案理由 指定管理者に施設の管理を行わせることができるようにするための条例の一部改正。

施設の維持管理は当然指

補正予算 4億896万円を追加

# 長沼工業団地内市道整備に2億4,321万円 インフルエンザ対策に3,359万円

## 一般会計補正予算の主なもの

- 児童扶養手当給付金 2,114万円  
児童扶養手当法の改正により、支給対象が父子家庭の父まで拡大されたことに伴うもの。
- 新型インフルエンザワクチン接種事業費 3,359万円  
19歳未満の方、基礎疾患を有する方、65歳以上の方について、本市独自の助成を行うもの。
- 口蹄疫防疫対策事業費 360万円  
防疫対策における基本的な資材を備蓄するためのもの。
- 降ひょう被害特別対策事業費 112万円  
本年6月の降ひょうによって、農産物に被害を受けた農家や農業生産組織に対し、種苗購入や果樹の防除薬剤購入に要する経費の一部を補助するもの。
- 長沼工業団地内市道整備費 2億4,321万円  
市道大洞9号線、市道三ツ目沢線の道路を整備するもの。
- 水稲緊急支援資金及び農業経営維持資金利子補給事業費 22万円  
農業経営維持支援のため、農協が創設する水稲緊急支援資金と農業経営維持資金への利子補給を行うもの。

**一般会計補正予算質疑**

Q 口蹄疫対策の機器類を広く活用できないか。  
A 機械は使わなければ傷むので訓練で使用する。併せて農業振興や害虫駆除にも使えるよう検討したい。

Q 児童扶養手当は、父子家庭にも支給されることになるが、祖父母がやむなく孫を扶養する場合もある。この時国民年金を受給していると、この手当を受けられないのはおかしくないか。  
A 国は乳がん、子宮がん検診受診率を50%に向上させる目標を掲げ、市は過去の受診実績を勘案して、40%の目標で予算化した。結果は、子宮がん検診が29.3%、乳がん検診は39.1%の実績となり、この目標受診率に満たなかった人数分を国に返還するものである。

Q 降ひょう被害の概算被害額3400万円に対し、助成額の110万円程度は少ないか。  
A キヤベツ、ソラマメは、50%以上の被害を受けた方に種苗購入費の20%、リンゴは被害後の消毒費用の20%を助成の基準とした。

Q 来月4月から佐沼病院に回復期リハビリテーション病棟開設のため、備品の整備を図るが、このことにより病院収支はどう改善するのか。  
A 30床を設置し、利用率85%、1億8000万円ほどの収入。一方人件費等の経費はおよそ1億6000万円。差引き2000万円の収益を見込んでいる。

Q これまでの治療薬、タミフル・リレンザのほか、1回だけの服用で済む、2種類の



降ひょう被害を受けたキャベツ畑を調査 (産業経済委員会)

Q 今年秋の農業収入が少ないことを考えると、資金を借りても4月末の償還期限では、返済できないのではないか。  
A 水稲緊急支援資金は4月末の償還期限だが、農業経営維持資金は中長期的な資金である。

Q 経営維持資金は借り換えも含めて可能な資金なのか。  
A 限度額が10万円あたり7万円、借り換えも対応できる資金である。

Q 医局の中で検討中である。  
A 薬が日本で開発された。市立病院での導入は、

提案理由 主に三陸道の開通で市道と認定するもの。

### 市道路線の認定



整備が進む長沼工業団地

Q 登米市の仕様に基づき、コンサルに設計を委託した。最低制限価格は、国の基準に準拠した内容で設定している。  
A 4社中3社が最低制限価格を下回った。価格の設定に問題はなかったか。  
A 登米市の仕様に基づき、コンサルに設計を委託した。最低制限価格は、国の基準に準拠した内容で設定している。

登米市企業立地促進条例の一部を改正する条例  
提案理由 企業立地の促進を図るため、奨励金制度の創設と拡充を行うもの。  
Q 三年前から議会で提案してきたが、当時市では関心を示さなかったが。  
A 長沼工業団地は一昨年の議会で説明したもので、今年になってから進出企業があつて必要となった。

利用権と所有権について。  
A 所有は国で、市道認定して利用、管理するもの。  
Q 草刈りは年4回とせず、適時管理できるように。  
A 石巻の維持管理事務所に要望したい。

### デジタル移動系防災行政無線施設整備の工事請負契約の締結

契約金額 2億9380万円  
契約相手 (株)東芝 東北支店

なぜ競争入札にしたのか。性能を買うのであれば、本来は総合評価かプロポーザル方式ではないのか。  
A プロポーザルの場合は提案型であり、今回は製造品の購入と工事費も相当額伴うことから電気工事の位置づけで、条件付一般競争入札とした。

資金を投入しハード事業は進んだが、人口は減少したという、意味のない事業にならないための検討は。  
A 雇用、産業振興、快適な住環境整備などを充実させていく必要があると認識し、各部署連携したなかで検討を進める。

医学生への奨学金貸与は本当に適債になるのか。  
A 過疎債ではあるが、全市に及ぶものとして利用できる。

### 〈報告事項に対する質疑〉

#### 登米市健全化判断比率の報告について

報告理由 財政の健全化に関する法律の規定に基づき、議会に報告するもの。

一般会計の実質赤字比率及び特別会計を含めた連結実質赤字比率が、赤字がないという理由でハイフオンになっているが、実質は黒字であっても、繰り入れ等を考えるとイエローカードに近いと考えるべきと思うが。

■平成21年度決算に基づく健全化判断比率 (単位: %)

	健全化判断比率	基準値(平成21年度)	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.89	20.0
連結実質赤字比率	-	16.89	40.0
実質公債費比率	14.1	25.0	35.0
将来負担比率	139.6	350.0	-

※赤字額がないものは該当なしのため「-」を表示しています。

#### 株式会社いしこしの経営状況について

報告理由 市が2分の1以上出資している法人及び会社の経営状況を議会に報告するもの。

株式会社いしこしの21年度決算の中で、預金が1200万円受取利息が1997円とは、あまりにも利息が少なすぎるのでは。受取利息の間違いか、残高の間違いか、あるいは売上げ等を水増ししていないか。  
A 即答できないので、きちんと調査をして、しかるべき時期に報告する。



農作業を通じて家族のふれあい

# 市政

# こじか園が聞きたい

一般質問は、9月9日から4日間、24人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。  
(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)

※ 議会ホームページで録画中継がご覧いただけます。

## 一般質問

### 9月定例会

#### 意見書

公益に関わる意見書案が提出され、審議の結果可決しました。

#### ○保育制度改革に関する意見書

児童福祉法に基づく現行保育制度を堅持し、拡充を図ることなどを国に対して求めるもの。

#### ○価格安定を念頭に置いた、米価対策が伴う備蓄政策の実施を求める意見書

需給と価格の安定を図る食糧法の趣旨に基づき、緊急に過剰米を国が責任を持って、市場隔離する需給調整対策などを国に対して求めるもの。

### 第3回臨時会

第3回臨時会が、8月2日に開かれました。財産の取得の変更についての議案を、原案のとおり可決しました。  
長沼地区企業用地造成事業用地として、取得している土地の隣接地をさらに追加取得するもの。  
▽追加取得面積  
3352平方メートル

### 第4回臨時会

第4回臨時会が、10月6日に開かれました。9月定例会において撤回された、字の区域をあらたに画することについての議案が再提案され、採決の結果、起立多数で可決しました。

**提案理由** 長沼工業団地の区域に存在する北方字三ツ目沢、太田河、深田の三つの字名を東富永に変更するもの。

**Q** 現存の富永に隣接し、おらず、東富永の字名は、この地域になじまない。地域住民との話し合いや、公募により、決定すべきでなかったか。  
**A** これからの工業団地にふさわしい字名を検討してきている。公募は検討しなかった。地域の皆様に考えの趣旨も含め、ご理解をいただくよう丁寧に説明をしていきたい。

#### 反対討論

提案の東富永は、地域住民の多くがあの場所がなぜ東富永なのか理解できないでいる。今回の字名決定の過程はまさに市民不在、地域住民不在のものであり、市長は協働のまちづくりを掲げながら、これからもこのような市政運営がなされることに大きな懸念を抱くものであることから、本案に反対する。  
関 孝議員  
(起立多数で原案可決)

### 9月定例会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	採決結果																																		
		賛成	反対	金野 静男	工藤 淳子	小野寺金太郎	武田 節夫	遠藤 正一	阿部 正一	佐々木 一	田口 政信	及川長太郎	浅野 敬	菅原 幸夫	二階堂一男	相澤 吉悦	浅田 修	伊藤 吉浩	庄子 喜一	関 孝	田口 久義	佐藤 恵喜	及川 昌憲	佐藤 尚哉	沼倉 利光	佐藤 勝	岩淵 勇一	中澤 宏	伊藤 栄	熊谷 憲雄	岩淵 正宏	八木 順一	星 順一			
登米市こじか園条例の制定について	可決	23	6	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
登米市都市公園条例の一部を改正する条例について	可決	22	5	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
平成21年度登米市一般会計歳入歳出決算認定について	不認定	5	24	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議		
平成21年度登米市病院事業会計決算認定について	不認定	10	19	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議		
工事請負契約の締結について(移動系防災無線整備)	可決	22	7	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		

### 第4回臨時会での審議結果

字の区域をあらたに画することについて(長沼工業団地の字名変更)	可決	22	5	○	○	○	欠	○	×	×	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
---------------------------------	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※採決結果欄 ○…賛成、×…反対、欠…欠席、議…議長。

**問** 子供は両親、家族を信頼し頼っている。その子供が両親、家族に裏切られ、精神的・身体的に



相澤吉悦 議員

### 問 未然に防げ・児童虐待 答 未然防止・早期発見に努める

苦痛を受けたとき、小さな子供が誰にも頼ることができず、話すこともできず、どうすることもできず、小さな胸を痛め、毎日過ごしていると思うと、やり切れない思いでいっぱいである。このようなことは我々大人が気づき、助けてやらなければならない。

の対策を保育所・幼稚園・小中学校・保護者だけでなく、市民からも協力をもらい、どうしたら未然に防げるか、対策すべきと考えるが。  
**答** 福祉事務所を事務局に登米市要保護児童対策地域協議会を設置し、医師会を含む市内関係機関、法務局や警察署、児童相談所などの国、県関係機関、そして民生委員をはじめ、地域住民が共通認識の中で連携し、一体となって未然防止、早

期発見発生後の機能的な対応に当たっている。  
**問** チラシ等で、「皆で子供を見守りましょう」とか、「子供に何か変わったことがあったらお知らせください」とか、そのようなチラシ等も市民に配布すべきと思うが。  
**答** 市民に対する啓発の仕方については、「将来のある子供をみんなで見守り育てましょう」と、このような形の広報を考えたい。



福祉施設に利用されている旧新田第二小学校

**問** 高度成長期に盛んに建設された公共施設が、今後集中的にその更新時期を迎え、市の財政に大



田口久義 議員

**答** システム活用含め今後の検討課題  
**問** 高度成長期に盛んに建設された公共施設が、今後集中的にその更新時期を迎え、市の財政に大

**問** 高度成長期に盛んに建設された公共施設が、今後集中的にその更新時期を迎え、市の財政に大

**答** 「市有財産活用委員会」の中で、福祉関連施設や企業誘致等に関する検討を重ね、一部活用を実施している。

**問** 合併6年目になり、この間消防庁舎建設等広域4事業や病院、複数町域にかかる事業及び災害



金野静男 議員

**答** 地域間格差を解消する施策を展開するのが基本的な考えであり、危険

**問** 市長のマニフェストに陸上競技場建設を掲げ



【別表】5年間の登米市建設工事発注状況 平成17年度～平成21年度（単位：千円）

町	発注額	割合
迫町	4,316,522	16.1%
登米町	1,996,349	7.5%
東和町	3,385,242	12.7%
中田町	4,576,017	17.1%
豊里町	4,067,758	15.2%
米山町	2,689,511	10.1%
石越町	992,405	3.7%
南方町	2,382,961	8.9%
津山町	2,328,678	8.70%
登米市合計	26,735,443	100%

(本人提示資料)

**問** 地域間格差は出していないか  
**答** 格差があるとは認識していない

**問** みやぎ県北高速幹線道路の事業計画では、三陸道登米ICから国道346号までの延長約5.5

**答** 施設の利用実態や緊急性を考慮し、修繕改修

計画に基づき順次実施する。陸上競技場の整備は、

他の整備計画との年度調整を図りながら進める。



本年度一部開通予定の県北高速幹線道路



伊藤 栄 議員

**問** 登米市内はなぜ一般道路なのか  
**答** 財政の悪化により変更になった

**問** 地域産材需要拡大支援事業の見直しを  
**答** 林業の振興と地元建

度に向け検討したい。

**問** 農作業中の死亡事故は全国で年間400件前後と減っていない。重傷事故は死亡の何倍にも想



佐藤 勝 議員

**答** 関係機関と一体となって取り組む

**問** 環境配慮契約の取り組み  
**答** 国や市が物品などを購入する際、価格だけでなくCO<sub>2</sub>の削減を考慮すべきと定めている。

**問** 環境配慮契約の取り組み  
**答** ①グリーン購入調達方針を定め、環境に配慮した購入や使用量の削減、リサイクルに努めている。



農業労災加入で安全作業を

**問** 農作業事故防止の強化を  
**答** 関係機関と一体となって取り組む

**問** 登米市内はなぜ一般道路なのか  
**答** 財政の悪化により変更になった

**問** 環境配慮契約の取り組み  
**答** 国や市が物品などを購入する際、価格だけでなくCO<sub>2</sub>の削減を考慮すべきと定めている。

で、温暖化や環境教育の面から光熱水費等ランニングコスト削減の設計とする。



改修が行われた中田中学校

**問** 年次計画に従って小中学校の大規模改修が行われているが、事業の範囲や内容について納得で



小野寺金太郎 議員

**問** 学校大規模改造事業に配慮を  
**答** 2億円を限度とする事業規模で

きるヒヤリングを行っていか。改修できかねた場所はいつ行うのか。  
**答** 設計士を交え、学校と打ち合わせを行いながら、改修箇所を決めている。一体の建物をどの部分まで改修するかは、明確に区分することが難しい。市内の学校を順次計画的に行わなければなら

ないため、概ね2億円を限度とする事業費規模で取り組んでいる。追加工事が必要な箇所は、設計変更を行い、緊急度の低いものは、学校施設の修繕計画の中で、順次対応している。  
**問** 中田中学校は、学校規模からみれば、2億円の事業費では少ないのではないのか。追加工事は、いつ行うのか。  
**答** 廊下の塗装工事は、計画している。塗装作業は養生する時間が必要と

なるので、長期休業中の工事を予定している。  
**問** 政権交代後、事業は順調に進んでいるか。年次の変更や事業廃止はないのか。  
**答** 引き続き、計画に沿った実施が図られるよう推進していく。  
**問** 国道346号線中田町石森駒牽、宝江黒沼十文字交差点の右折レーン整備はいつか。  
**答** 要望しているが、現時点では事業化を検討するまでには至っていない。

**問** 学校給食法が改正された。学校給食を生きかたが、今日的意義であり



佐藤恵喜 議員

**問** 大規模給食センター計画見直しを  
**答** 建築・運営コストの削減図れる

課題である。したがって、市が進めようとしている3600食をつくる学校給食センター計画は見直し、できるだけ自校方式にすること。調理配送業務の民間委託は直営より高くつくので改め、直営に戻すことを求める。  
**答** センター方式は建築・運営コストの削減が

図られ、衛生管理がより徹底できる。3600食規模であれば1センターに集約することは適正であり、配送も問題ない。民間委託によって経費の削減につながっている。  
**問** 大量調理で、郷土料理・はっちは大丈夫か。また、大量調理によって、献立は違って、ごった煮というか、煮崩れで似たようなものになるといふ先生の指摘もあるが。  
**答** 手つみとなると、難しい面も出てくるかと思

う。食数が増えれば、なべなど器材が増えるので、現在と同じ味を確保できる。  
**問** 衛生管理の徹底は、小さな調理場ではためか。  
**答** 小規模であれ、衛生管理は確保する。  
**問** 建設地と建設時期は、再編の切り替えは25年度から。  
**問** PTA等に相談をかけているのか。民間委託の経費、都合のいいところだけの比較ではだめ。



自校方式の給食 (佐沼小学校)

**答** 今後、説明をし、理解を得ていきたい。



盛大に開催された「YOSAKOI&ねぷたin豊里」

**問** 市民の心よりどころの一つである旧町単位のイベント・祭りを自主的に運営している団体が



佐々木一 議員

**問** 団体補助金、来年度以降の考えは  
**答** 活動内容精査し、予算に反映

昨今の社会経済情勢で予算的に大変な苦勞をしている。来年度以降の総体的な団体補助金の考え方を伺う。  
**答** 検討委員会で活動内容を精査し、団体育成補助から活動に対する補助への転換を図っていく。イベント等祭りに対し削減の考えはない。

**問** 職員提案制度について  
**答** 職員の能力向上、意識改革により、市民サービスの向上を図る目的の制度で大変期待しているが、これまで提案された件数と内容、また、政策にどれだけ反映されたか伺う。  
**答** 年々少なくなってきた。21年度は3件あったが、実効性などに課題があり、実施に至っていない。本年度はまだない。今後は、提案意欲を喚起する仕組みを工夫する。

**問** 一人暮らし高齢者の救急対応策は  
**答** 社協に委託したり、地域単位で取り組みを予定しているが、名前、血液型、持病や服用中の薬、緊急時の連絡先など、情報内容の整理と設置場所など表示方法を早急に統一すべきではないか。  
**答** 提言を踏まえ、社協の取り組み事業を基本とし、設置場所の統一など、居宅、外出時の一体的な支援事業として取り組んでいく。

**問** 二倍強になった都市計画で何を

**答** 都市計画マスタープランを基本に



二階堂一男 議員

**問** 市の都市計画区域が従来の2・28倍に拡大されたが、どのような整備がされるのか。

**答** 合併に伴い、原則一つの都市計画が望ましいことから、20年に策定された「登米市都市計画マスタープラン」を基本に見直しを行った。これまでの6地区を登米市都市計画と、石越が含まれている栗原地区の二つと都市施設整備等一体的整

備、開発、保全を考慮した結果、8066haと従来の2・28倍になった。登米インターを中心に整備を図る必要ができたことも大きな要因となった。また、都市交通マスタープランも策定していることから、今後、都市計画道路の見直しを図っていく考えである。  
**問** 低価格受注競争を防止する、効果のある公契約条例についてどう考えているか。  
**答** ダンピング受注を防

止するため、本市では最低価格制度や総合評価制度を多く活用し、公平な入札と地域経済の振興、労働者の福祉向上に努めるとともに、制度の実現を国に要望する。  
**問** 若柳金成インターへのアクセスと、石越小谷地道路はいつ結接するか。  
**答** 登米市側は用地買収も終えているが、栗原市側の市道大袋8号線とほ場整備の分が遅れている。今後更に栗原市と連携を強めていく。



栗原(若柳)から石越方面を望む



整備が待たれる野球場

**問** 市の野球は小学生から還暦の年齢まで幅広く取り組まれている。合併前に各町が施設整備をし



田口政信 議員

てきたが、中途半端な施設となっている。硬球でも野球のできる施設整備の考えは。  
**答** 市内には、少年野球が21、小・中学校が10、高校が5、40歳以上が9、還暦が2など、75チームある。硬式野球の場合は、防球ネット設置等施設改修が必要とされる。スポ

**問** 緊急経済雇用対策は

1ツ審議会の答申をうけ、「社会体育施設管理運営検討委員会」で調査し、競技団体と協議をしていく。  
**問** 新設ではなく、既存の球場の中から交通アクセスや球場の形態等の条件を考慮して整備すれば、財政負担も軽微と考えられる。いつ頃まで調査検討を終えるのか。  
**答** 競技団体等と協議し、年内に結論を出したい。

**問 硬式野球のできる球場の整備を**  
**答 年内をめどに調査結論を出したい**

**問** 改正過疎法はハード事業にも過疎債要件が追加され、さらにソフト事業にも適債になる。どの



岩淵正宏 議員

ようなまちづくりを目指すのか。  
**答** 市役所内部の連携を強化し、地域の皆様・各種団体と意見交換しながら計画に反映したい。特に、ソフト事業が過疎債の対象となったことから、英知と創造力を結集し、均衡ある地域の発展と若者をはじめ多くの

人々が定住するまちづくりを目指していく。  
**問** 合併時に持ち込んだが未だ計画もない地域政策事業、登米中学校裏急傾斜地災害防止工事や横山小学校プール等改修事業を取り組めるのではないか。  
**答** 全市的な見地で、重要度・緊急度から実施計画に上げるかを考える。  
**問** 豪雨での山崩れや川が氾濫した場合、学校は指定避難所となり、緊急度はかなり高いのでは。

**答** 各行政区長や地域審議会の皆さんと話し合い、どんな事業が必要か、思っているのか、意見交換をしたい。  
**問** スポーツクラブ設立に向け、ユニカールやソフトラレーのセットを購入し、町域間の平等を。  
**答** 施設間で貸し出し調整を図り利用している。スポーツクラブが9地区に設置された場合、再配置を考えている。



雑草だらけのプールサイド (横山小学校)

**問 改正過疎法に基づいた計画は**  
**答 課題を的確にとらえ計画に反映**



**問** 18年3月策定の行革大綱は、今年が計画最終年度である。進捗状況は。  
**答** 取り組みの中で、職



沼倉利光 議員

員人件費と物件費の削減が大きなウエイトを占めている。職員人件費は事務事業、組織機構の見直し、民間委託の推進などを行い、定員の適正化に努め、時間外勤務手当や管理職手当など人件費の削減を図った。消防・企業会計を除く市長部局の5年間の削減目標額19億

円に対し、4年間で約12億5千万円、66%の達成率、物件費は同じく20億円に対し、約11億6千万円、58%の達成率である。  
**問** 5年間で244人、10年間で450人の職員削減目標に対し、各部各係・支所毎の職員配置図が5年経っても示されない。17年度約106億円の人件費は22年度に87億円台まで下がるべき。総人件費100億円を超えるのは一体どこから来るか。全体的な検証はしたか。

物件費も65億円から20億円を削減するとしていたが、できていない。職員時間外手当は、17年度の半分以上になった。管理職手当は一時減額されたが、22年度から1千万円増になったがなぜか。  
**答** 5年、10年後の詳細な各部各係の配置図はない。人件費が今年6月補正で100億円を超えたが正確な検証はしていない。物件費は増加要因があり、減にならなかった。手当は精査し検討する。

**問 総人件費100億円はなぜ減らぬ**  
**答 正確な検証はこれからである**

**問** 後期高齢者医療の保険証が8月から新しくなり、登米市では滞納している対象者98人のうち63



工藤淳子 議員

人に短期証が発行され、県内では一番多い人数になっている。栗原・石巻・東松島・大崎・松島等では、高齢で病院にかかっている人が多く、対応は慎重にすべきだという判断から、すべて一般証を発行している。登米市でも、もっと慎重に対応すべきではないか。

**問** 市として様々な取り組みが展開されているが、受け入れ農家の方から「市の担当が次々代わ

り一貫性がない。子供たちが満足して帰れるよう受け入れ農家の勉強会などが必要ではないか。指導体制をしっかりとしてほしい」という要望が出されている。市として、どう取り組んでいるのか。  
**答** 担当者の異動があっても一貫して指導しているし、参加した生徒は、一定程度の満足感はあると思う。受け入れの体制の整備など、今後とも事業の拡大に取り組んでいきたい。

**問** グリーンツーリズムの充実を

**問** 対象となった98人については、納付相談をはじめ、文書や訪問等の接触機会の状況を確認しながら、総合的に検討した結果行なった。今後も接触機会の確保に努めるとともに、納付意識の向上を図っていききたい。

**問 短期証の発行は慎重な対応を**  
**答 総合的に検討し、発行**



太極拳は幅広い年齢層の方に人気がある

蔵のまち、ラーメンのまち福島県喜多方市では、全国初となる『太極拳のまち』を宣言、虚弱



中澤 宏 議員

問 太極拳ゆったり体操で介護予防を

高齢者のために「太極拳ゆったり体操」を完成させ、独自の介護予防運動を展開している。本市の取り組みはどうか。

本市の高齢化率は、3・5人に一人が65歳以上となっており、高齢者のみの世帯も年々増加の傾向にある。実態調査の結果では、運動習慣のあ

る高齢者が少なく、転倒発生率も33%と高くなっている。東北化学園大と協力して「いきいき体操とめ」を考案し、市内各地で普及を図っている。

登米市の高齢化、少子化の状況は、今後どう推移するのか。

現在28%の高齢化率は、4年後に30%を越し、30年後に日本の高齢化率はピークになると予想している。平成21年度の出



生物多様性を目指す冬水田んぼ

問 本年、市の食料・農業・農村基本計画を見直し予定だが、今後の取り組みの基本方針を伺う。



及川昌憲 議員

問 多様な経営 目指せ海外流通

①経営の持続性・健全性の確立。②生産の拡大販売戦略、付加価値性を高める取り組み。③多様な担い手の確保。④農地確保と有効利用の確立。⑤食の安全安心と食農教育の確立。⑥生物多様性戦略・環境保全・有機農業など、各取り組みは。

①戸別所得補償制度の活用、コスト低減②生産と流通、消費の橋渡し。③多様な担い手の育成・集落営農や法人経営者の活動促進。④農地集積、耕作放棄地対策、農地情報の利活用推進。⑤GAPの推進と普及、トレーサビリティの義務づけ、食文化の伝承と学校教育との連携。⑥冬期湛水栽培田等の推進、CO<sub>2</sub>削減数値の「見える化」の推進。以上の観点から、食料・農業・農村

基本計画の見直し作業を進める。

問 多様な和牛戦略、海外輸出の考えは。米の輸出実績がより大きく伸びており、海外輸出戦略を強力に進めていくべきと思うが、併せて収入保険制度の道を開く努力が重要と考えるが。

問 ニーズへの対応とグレイドの中に特色のある価値を見出す戦略と海外戦略等については、情報収集や関係者との連携を続けていく。

問 多様な経営 目指せ海外流通

問 市民バス東和線の運行について、ミヤコーバス佐沼営業所から若草園までを県境の二股まで延

問 米川地区はオンデマンド型というところだが、地域の方々は改善を望んでいる。また、補助金の見直しは。



菅原幸夫 議員

問 市民バス東和線の運行について、ミヤコーバス佐沼営業所から若草園までを県境の二股まで延

長できないか。

問 米川地区はオンデマンド型というところだが、地域の方々は改善を望んでいる。また、補助金の見直しは。

答 米川地区の方々と運行協議会の方々と話し合いをしていただきたい。運営が厳しいとのこと、今年度から補助金算出方法を見直し、運行委託経費から、運賃収入と利用登録料を差し引いた額を市で補助する。

問 市民バスを二股まで延長できないか

問 オンデマンド型市民タクシーで対応

問 新規就農者に月額10万円の支援金を。



佐藤尚哉 議員

問 自主防災活動に支援を

問 市民と力を合わせて農業振興条例の策定を。

問 職員のメンタルヘルスの取り組みと職場復帰について。

問 総合計画は、市民の意向等を十分に把握し、反映することが重要。現在は基本的な考え方に変更がなく、新たな策定は考えていない。

問 米川地区はオンデマンド型というところだが、地域の方々は改善を望んでいる。また、補助金の見直しは。

問 元気な高齢化社会を築く市長の思いを伺う。



自主防災組織の消火訓練

問 地域の实情に合った支援に

問 自主防災活動に支援を

は農業関係者だけでなく、消費者である市民の理解と運動を進めたい。それぞれの分野では条例化が進んでいると考えている。

問 合併して6年、市の将来像を示す総合計画を。



既存企業の作業風景

**問** 今後の企業誘致をどう考えているか。  
**答** 豊田鉄工が内定したように、今後さらに自動



武田節夫 議員

**問** 豊田鉄工が内定したように、今後さらに自動

**問** 今後の企業誘致をどう考えているか。  
**答** 豊田鉄工が内定したように、今後さらに自動

**問** 組織の見直しについて  
**答** 教育委員会の施設担当を建設部に一元化すべきと思うが、教育施設は数多く、

### 問 今後の企業誘致の考えは

### 答 空き工場等の情報提供に取り組む

**問** 一般職の任期付職員登用の成果は。  
**答** 市内立地企業に対する事業拡大の提案活動、進出が決定した企業に対する造成や許認可申請等の管理、支援を行っている。  
**問** 専門技術職の新規採用を増やすべきと思うが。  
**答** 技術職の採用については、退職者等の動向を踏まえ計画的に採用していく。平成23年度の職員採用計画については、土木技師及び建築技師を採用することになっている。

**問** 医師不足解消のため、市独自の医学奨学金制度を導入したが、利用している16人の医学生が



八木しみ子 議員

**問** 医師不足解消のため、市独自の医学奨学金制度を導入したが、利用している16人の医学生が

**問** 今後の企業誘致の考えは

**問** 組織の見直しについて

### 問 医学奨学金制度が生きる病院構築を

### 答 奨学生が安心の体制を早急に図る

**問** 医師不足解消のため、市独自の医学奨学金制度を導入したが、利用している16人の医学生が

**問** 今後の企業誘致の考えは

**問** 組織の見直しについて



ネットビジネス「みやぎ登米ふるさと館」

**問** 新たな事業実施は、どのような政策決定のプロセスを経て議案として提出されるのか伺う。



遠藤 音 議員

**問** 新たな事業実施は、どのような政策決定のプロセスを経て議案として提出されるのか伺う。

### 問 新規事業の政策決定プロセスは

### 答 市民条例にも反映していきたい

**問** 協働の原点である市民条例が作られている今、市民の考えが政策に上がる仕組みが本来あるべきでは。  
**答** 地域審議会等から上がるものもあるし、市民条例にも反映させたい。  
**問** 一次産業の販売戦略の一環としてインターネット通販システム構築事業を立ち上げたが、現状

**問** 政策立案と議会提案と事業執行と決算のプロセスの中で、最大に重視するのはどこか。



浅野 敬 議員

**問** 政策立案と議会提案と事業執行と決算のプロセスの中で、最大に重視するのはどこか。

**問** 新たな事業実施は、どのような政策決定のプロセスを経て議案として提出されるのか伺う。

**問** 組織の見直しについて

### 問 政策形成に係る基本的考えは

### 答 最善の策を思案しながら取り組む

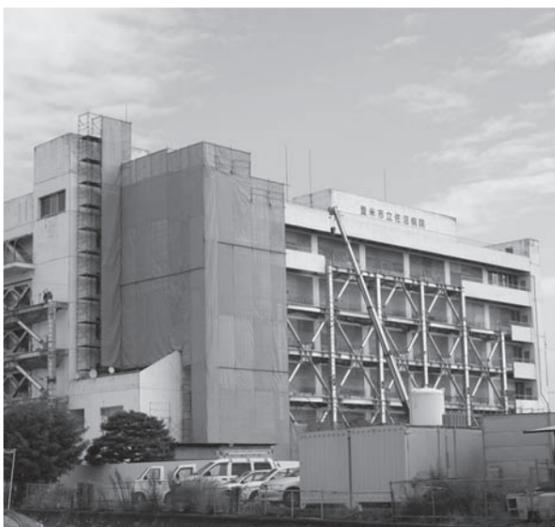
**問** 政策立案と議会提案と事業執行と決算のプロセスの中で、最大に重視するのはどこか。

**問** 新たな事業実施は、どのような政策決定のプロセスを経て議案として提出されるのか伺う。

**問** 組織の見直しについて



再編が検討されている出張所



耐震補強工事が進む佐沼病院南館

# 議会の動き

## 7月

- 6日 ● 全員協議会
- 建設水道委員会
- 議会改革調査特別委員会
- 8日 ● 地域医療確立調査特別委員会
- 12日 ● 建設水道委員会行政視察
- 13日 ● 第2回臨時会
- 地域医療確立調査特別委員会行政視察
- 14日 ● 議会報編集特別委員会
- 15日 ● 議会改革調査特別委員会
- 16日 ● 産業経済委員会
- 20日 ● 議会報編集特別委員会
- 22日 ● 群馬県館林市議会会派行政視察来庁
- 23日 ● 地域医療確立調査特別委員会行政視察
- 27日 ● 産業経済委員会行政視察（～29日）
- 28日 ● 教育民生委員会行政視察（～30日）
- 兵庫県赤穂市議会会派行政視察来庁
- 29日 ● 千葉県市原市議会会派行政視察来庁
- 30日 ● 愛知県豊明市議会会派行政視察来庁

## 8月

- 2日 ● 第3回臨時会
- 議会報編集特別委員会
- 4日 ● 建設水道委員会行政視察（～6日）
- 栃木県高根沢町議会行政視察来庁
- 9日 ● 地域医療確立調査特別委員会
- 10日 ● 議会改革調査特別委員会
- 18日 ● 総務企画委員会行政視察（～20日）
- 27日 ● 総務企画委員会
- 30日 ● 全員協議会

## 9月

- 1日 ● 地域医療確立調査特別委員会
- 議会改革調査特別委員会行政視察（～2日）
- 東京都江戸川区議会行政視察来庁
- 3日 ● 議会運営委員会
- 6日 ● 地域医療確立調査特別委員会
- 9日 ● 9月定例会開会（～30日）
- 13日 ● 議会運営委員会
- 14日 ● 議会報編集特別委員会
- 15日 ● 各常任委員会
- 21日 ● 各常任委員会
- 24日 ● 各常任委員会
- 27日 ● 議会運営委員会

## 傍聴案内

### 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知るよい機会です。  
お気軽に傍聴してください。  
なお、団体の場合はあらかじめ議会事務局へご連絡ください。



登米市版「事業仕分け」

**問** 各部署でさまざまな計画が策定されているが、着実に実行されているか。目まぐるしい社会



関 孝 議員

**答** 経済情勢の変化の中で、常に計画の検証・評価・見直しが必要と思うが、行政評価委員による事務事業の精査、評価の結果を議会、市民に示し、事業の目的と理念を忘れることなく、取り組みを進めて行く。

### 用途地域見直しの課題

**問** 佐沼中江地区の産業廃棄物中間処理施設設置に反対する請願が市議会、県議会で可決されたにもかかわらず、県は5月に許可を出した。今回、都市計画用途地域見直しにあたり、この地域課題をどう協議調整したか。

**答** 準工業地域であり、そうした施設については、何ら規制される地域でなく手続が進んだものがある。既に、いろいろな施設も張り付いていることから、準工業地域の維持で調整したものである。

**問** 市民の半数は非農家。団塊世代の定年退職後の農業体験の場、家族での体験を通じた子供たちの食育や農育の場として、遊休農地を市民農園として整備し、貸し出し

**答** 市では、東和町相川地区に集落農園を整備計画しており、利用の応募状況を見極め、今後の整備について検討していく。

## 問 各種計画の検証・見直しを急げ！

## 答 現状に即し効果的な運営を行う

**問** 21年度文科省関係のいじめ調査では2件、22年6月までの市独自調査では793件との話であ



阿部正一 議員

**答** るが、数字に大きな開きがある。どう捉えているのか。いじめの数字が大きいと校長や学校の評価が下がると聞く。ある自治体では独自調査の数字を重く見て分析し、取り組んでいるところもある。本市でも市独自調査の数字を分析し、取り組むべきと考えるが、どうか。

## 問 いじめ調査を分析し取り組み

## 答 手がかりをつかむ調査である

**問** 中学校の外部指導者に委嘱状を出すべきではないか。また、部活動の技術指導者を外部から受け入れ、地域と協力しながら子供たちを育ててはと思うが、どうか。

**答** 委嘱状については、来年度から交付する。技術指導者については、受け入れる方向で進めたい。

**問** 今後の企業誘致戦略についてどのような考えがあるか、伺う。



将来構想が示された東北新生園

**問** 東北新生園将来構想の中で、施設利用等で本市にとって大変温かいお話を頂いていると思う。もう少し国・県に積極的に働きかけてはと考えるが、どうか。

**答** 機会を伺え要望をしていく。

**問** 企業誘致について

**問** 今後の企業誘致戦略についてどのような考えがあるか、伺う。

**答** 今後も積極的に取り組んでいく。



エアコンのあるホールで遊ぶ子供たち

**問** 異常気象とも言うべき暑さが続き、子供たちは蒸し風呂のような教室の中で、熱中症やアトピー



浅田 修 議員

**問** 次年度の計画に盛り込む

**問** 校舎の改修などの時期にあわせ、設置教室を適切に選択し、整備を進めていく。幼稚園は預かり保育で使用する保育室への設置を優先して整備し、保健室についても順次進めていく。国の補助事業も含め、年内中には事業内容を示し、次年度の計画に取り組みを盛り込み、児童・生徒がよりよい環境で学校生活を送れるよう学校施設の冷暖房整備を進めていく。

**問** 合併特例債事業の

**答** 22年度から24年度までの特例債事業は、事業費で76億円、発行額は55億円であり、建設計画の中で未実施事業は、庁舎建設事業や土地区画整理事業などの大きなプロジェクトがある。

**問** 異常気象とも言うべき暑さが続き、子供たちは蒸し風呂のような教室の中で、熱中症やアトピー

**答** 汗でかゆくなる症状を訴えるなど、授業に集中できない環境であり、教育効果の点からも、健康衛生面からも許されないことである。エアコン、扇風機等を設置し、学習環境の改善を図ることが急務と考える。

**問** 合併時に計画された合併特例債事業は、残された期間もわずかとなくなってきた今、今後の特例債事業の用途を示せ

**答** 22年度から24年度までの特例債事業は、事業費で76億円、発行額は55億円であり、建設計画の中で未実施事業は、庁舎建設事業や土地区画整理事業などの大きなプロジェクトがある。

## 問 幼・小・中学校にエアコン設置を

## 答 次年度の計画に盛り込む

**問** 合併特例債事業の

**答** 22年度から24年度までの特例債事業は、事業費で76億円、発行額は55億円であり、建設計画の中で未実施事業は、庁舎建設事業や土地区画整理事業などの大きなプロジェクトがある。

# 百聞は一見にしかず

# 地視察

# 先進

# 委員会 レポート

## 総務企画委員会

8/18 ▼ 8/20

**滋賀県米原市「財政運営」について**

17年に旧坂田郡の4町が合併し米原市が誕生。人口4万1500人、20年度決算は歳入206億円、歳出198億円。職員数は合併時490人であったが、現在は420人。今後更に人口の1%に当たる400人程度まで削減する計画で、将来を見据えた手堅い財政運営に徹していた。

**岐阜県恵那市「地域防災」について**

16年に1市4町1村が合併して恵那市が誕生。

合併前は市町村それぞれ防災無線を設置していたが、互換性が無く同時に全市に放送できなかった。また、アナログではノイズが入り、聞こえづらなどの問題を解決するため、デジタルによる施設整備を図る。

本市の場合も、全市一括放送ができなくとも、情報を漏れなく伝達する方が必要で



恵那市の防災行政無線システム

あると感じた。

**岐阜県下呂市「総合的な業務に対応する振興事務所」について**

市役所の組織体制を5年ぶりに大きく変更した。

合併による財政特例措置の終了に伴い、31年度に地方交付税が現在より3割程度減少すると見込み、次世代の負担とサービスのあり方について、積極的に対応していた。

## 産業経済委員会

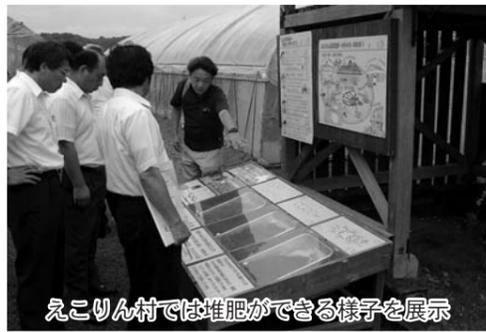
7/27 ▼ 7/29

**北海道長沼町の「グリーン・ツーリズム推進事業」について**

16年に構造改革特区の認定を受け、農家民宿を増やし、旅行会社と連携のもとに宿泊者を募集している。修学旅行のリピーターが多く、本年度は85小中高校で4800人の農家民宿が予約されている。受け入れ農家による運営協議会が組織され、一貫した受け入れ態勢は、大いに参考となる。

**北海道恵庭市「エコりん村株式会社」の「環境に配慮した施設（食品工業環境負荷低減）」について**

登米市産米が使用されている「びつくりドンキー」は同じ系列会社。食材工場では、店舗の廃食油をBDFに再生活用、食品残渣からのバイオガスボイラーなど、自然と調和した持続可能な食材提供を行っている。企業グループでの環境に対する徹底した取り



エコりん村では堆肥ができる様子を展示

**北海道帯広市の「環境保全型農業」「地産地消」について**

組みは、行政としても見習うところがある。

「環境モデル都市」の指定を受け、森林の倒木間伐材でのペレット燃料や太陽光パネルを活用した温室ハウス、大規模経営での環境に配慮した農業を推進している。また、学校給食では、10年後に地元産食材の取扱量を70%へ引き上げる計画で、食糧基地「十勝」の姿勢がうかがえる。

## 教育民生委員会

7/28 ▼ 7/30

**愛知県豊田市「学力向上に向けた取り組み」について**

創意と特色に満ちた学校づくりを推進し、その具体策を体系化し、明確な方向性を示している。その特色として、個人の理解度の向上等に対応するための少人数学級の実施や教える側の力量を高めるための教育センターの充実等がある。本市でも、これらの視点での検証が必要と感じられた。

**岐阜県多治見市「学校給食基本方針」について**

すべてセンター方式としてきたが、20年度より単独調理場方式に変更。調理員と子供たちの顔が見える給食作りとした。単独調理場の方がおいしいと好評、アレルギー対応がし易い。食器は地産の陶磁器を使用。給食費の滞納を防ぐため、保護者と学校との給食申込契約を導入。本市でも、センター方式の建設が計画されており、給食費滞納対策と



多治見市の学校給食について研修

併せ、参考にすべき点が多かった。

**愛知県高浜市「高齢者介護・福祉事業」について**

高浜駅前に「生き生き広場」を開設し、市の福祉部門を一元所に集めて機能的な連携がなされ、充実した介護・福祉事業が展開されている。市民と行政が一体となって高齢者福祉に取り組んでいる高浜方式には学ぶべき点が多かった。

## 建設水道委員会

7/12 ▼ 8/4 ▼ 8/6

**福島県会津若松市「浄水場運転管理業務委託」について**

取水、浄水施設、送水のすべての業務を一括して第三者へ委託していた。効果は単年度で1億4700万円の経費削減。職員数は25名削減されていた。本市でも一部委託の方向にあり、今後とも内部機構改革を進め経費削減に努力する必要がある。

**愛知県名古屋市長屋市「公共工事の改良土使用」について**

公共土木工事の埋め戻しは、再生資源の有効活用を目的として改良土が仕様書に明記されていた。価格的には割高となるが、本市としても循環社会の構築を目指し、改良土使用の検討も必要と考える。

**滋賀県米原市「道路網整備計画の概要」について**

計画には「どこに、どんな道路が、いつ頃必要か」を具体的に示すため、誰が見ても



柘原市の伝統的建造物の町並み

納得のできる「評価基準」を設定し、得点を図り、優先順位を定めていた。本市でも早急に「評価基準」を策定し、道路整備計画を進めることが大切である。

**奈良県橿原市「景観まちづくり」について**

景観形成の3原則として①歴史的遺産の保全、②都市と自然の共生、③歴史と現代の調和を掲げた条例、計画が策定されていた。本市でも地域の特徴を生かしたまちづくりが大切と考える。

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

## 自分を大切に



藤原 康さん  
(迫)

30数年前の歌に「人は皆な一人では生きていけないものだから」と言う詩があります。当時よくカラオケで歌ったものでした。今の暮らしの中で、どこでも口にされる少子高齢化、そして医療・教育の問題等が、山積していることは言うまでもありません。健康で生き生きとした日々を維持する上での障害となっています。地域性では、大切な食を守っていく農業後継者の減少、そして仕事を求めても働く場所が無いなど、行政と私達が、地域との繋がりを通し、避けて通ることができないものだと考えます。何をすることも金銭の出費が多く掛かる世の中です。便利さゆえに仕方がないのでしょいか。医療・教育もセルフ、何んて事に。今、子供たちとある活動をしていいますが、日々変わる眼差しに、次世代への期待を感じながら限らない平和を強く望むものです。



櫻井 奈代子さん  
(米山)

### 死守

今年の春。ようやく収穫を迎えたキヤベツが、「雹」の被害に遭いました。無残な姿のキヤベツには、ただ落胆するしかありませんでした。傷によつて市場に出せなくなり途方に暮れていた所、善意で多くの方々から買って頂きました。その中でも、いち早く駆けつけてくれた議員さんがいらしたことは、私達にとつても、登米市にとつても、大きな意味があったと思います。今回は局地的な被害でしたが、これが広域に及ぶものであったならば、さらに迅速で厚い対応を求められたことでしょう。恵まれた自然の中で育まれた豊富な食材を誇る「食材王国」登米市を守り続けるためには、私達の努力も当然必要でしょうが、迅速な対応ができる行政と、市民の味方の議会の力が必要だと信じております。どうぞ大いに期待させてください。

## 登米市民の人間力について



今井 保波さん  
(豊里)

最近、人間力劣化による社会問題が多いと思いますが、登米市も例外ではないように思います。税の滞納者や給食費未納者の増加などは、正に人間力の劣化を象徴していると考えます。以前、納税は義務であり、誇りと感じている人が多かったと思いますし、給食費を納めない人など、皆無に等しいように記憶しています。今ほど豊かでもなく、学識の高い大人達が少なかったとも思いませんが、なぜ秩序が守られていたのでしょうか。「恥の文化」です。この文化の復活こそ、人の劣化を防ぐ最良の方法ではないかと考えます。今後、地域間競争は激しさを増し、より良い住環境を提供できる地域に、より良い人々が集まるのは至極当然のことと考えます。良識ある大人の生き様は子供にとって最高の教材であり、無言の教育であると私は信じております。

# 特別委員会報告

## 議会改革調査特別委員会



陸前高田市議会

## 登米市議会基本条例の制定に向けて

議会改革調査特別委員会では、これまで協議検討してきた登米市議会の新たな制度のあり方を、議会基本条例に表すことを前提に、9月1日から2日間の日程で、行政視察を行った。

岩手県宮古市議会  
○議会基本条例について  
○議会改革について

市民と議会との間で、議会活動に対する評価や期待について大きなずれや批判があり、議会及び議員の活動原則、並びに市民との関係を明文化するため、1年余りの検討を経て、議会基本条例及び議会議員政治倫理条例の制定を行っている。

岩手県陸前高田市議会  
○議会基本条例について  
○議会改革について

キーワードを「市民に理解してもらい、参加しやすい議会制度の確立」とし、議会のあり方や活性化を議会基本条例に盛り込んでいる。この他に学んだ多くのことは、登米市議会基本条例に生かしていきたい。

## 地域医療確立調査特別委員会



黒川病院での説明

## 病院改革プランに検討の余地

10月20日、第13回地域医療特別委員会で、病院改革プランの見直しとアンケートのまとめについて協議した。医療現場の声を聴く目的で、病院勤務医師34人、医療スタッフ440人、市内開業医師34人にアンケートを実施した。その中で、市立病院の医師の集約化や労働環境の改善、経営の健全化に向けた取り組みと医療を

安定的に提供するための病院改革プランは、「賛成」が医師・医療スタッフともに10%未満であり、「検討の余地がある」「反対」が約70%となった。医師不足に対応した医師集約の改革プランが、当事者の全医師と綿密に検討して作成されなかったことが伺えられる結果となった。

黒川病院では、院長（事業管理者）が先頭に立ち、改善に向かう熱い思いがひしひしと感じられた。職員が一丸となり、地域住民一人ひとりの思いにお応えできるよう安全で安心、良質な医療サービスの提供をモットーに、医師・看護師、窓口業務、清掃員までもプロ意識を持ち、「楽しく働く職場づくり」を心がけている病院であった。

〔10月26日／行政視察〕  
黒川病院  
○公設民営の経緯と経営の取り組みについて

黒川病院は、仙台市に近いため患者の流出が多く、医療制度の改革等も加わり、経営が危機的な状態となった。いろいろな議論を重ね、17年4月から公設民営に移行し、経営の安定した優良病院となった。